

国際戦略経営研究学会

The International Academy of Strategic Management

NEWSLETTER VOL. 8.No.1

2019/1/18



(内容)

- 1 会長新年ご挨拶
- 2 国際戦略経営研究学会第12回年次大会・研究発表大会のご案内
- 3 第11回年次大会・研究発表大会のご報告
- 4 第1回(2019年度)学会賞のご案内
- 5 編集委員会よりのお知らせ
- 6 事務局からのお知らせ

1. 会長新年ご挨拶

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます

本年もよろしく願い申し上げます

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年が良い年でありますようお願い申し上げます。

新元号に変わる本年は、文字通り節目の年となります。メディアでも平成を振り返る記事、番組が多くなってきました。平成元年（1989年）はバブル経済末期でしたが、その後まもなく崩壊し、平成は失われた30年間となってしまいました。しかも、いま保護主義へのシフト、地域紛争の拡大、不正不祥事の頻発など、世界は混沌度合が増えています。世界秩序、資本主義、民主主義のあり方を問い直す必要も生じてきました。

この節目の年に際し、みなさまはどのような思い、抱負をお持ちでしょうか。国際戦略経営研究学会も創立12年目となりますが、さらなる発展に向け、取り組みを新たにしていきます。ジャーナルに関しては、念願だった“Journal of Strategic Management Studies”のJ-Stage上での電子ジャーナル化を昨年実現しました。インターネットを介して海外からのアクセスが増える等効果を挙げジャーナルとしての魅力が高まったものと思います。さらに良い論文を世界に発信していくためにも、オープンアクセス方針を明示し、会員のみなさまからの論文投稿増を図っていきます。研究発表大会は、今年10月5～6日に文教大学越谷キャンパスで開催します。秩序、制度、戦略を決め動かしていくのは、最後は“ひと”です。節目の年として、戦略経営における人間的側面を議論する有意義な大会にしていきたいと考えています。もう一つの学会の柱である研究部会については、会員の研究領域や関心に基づき、構成や運営方法をリフレッシュしていきたいと思います。研究方法論のチュートリアル、実践研究のシンポジウムといった新たな研究交流の場の設置を具体化していきます。

節目ということであれば、学会の役割やその変化という面から取り組まなければならない課題もあります。学術研究と実践とを架橋する学会として、ビジネススクール系大学院の実務教員・社会人院生の会員増に取り組んでいるところです。ただ、学会員のバ

ックグラウンドが多様になってきたことから、当学会に限らず研究倫理に反する論文や研究発表が散見されるようになってきました。そこで、研究活動における個人の倫理、学術団体としての倫理について改めて喚起していかなければなりません。そこで、理事会では現在、「倫理綱領」の策定を検討中です。研究活動では、捏造、改ざん、盗用、さらには多重投稿、不適切なオーサーシップという研究不正行為はもちろんのこと、個人情報・秘密情報、著作権の保護などについて十分留意する必要があります。学会として会員に啓発するとともに、学会として守るべき倫理を「倫理綱領」をとおして明確にします。

このような新たな時代に向け課題は山積していますが、引き続き戦略経営研究の発展に寄与していきたいと考えています。そのためには、会員みなさま方のご参画、ご支援が不可欠です。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

2019 年 元旦

国際戦略経営研究学会会長 歌代 豊

2. 国際戦略経営研究学会 第12回年次大会・研究発表大会のご案内

本年度の第12回大会の日程、統一テーマ等が下記の通り決定致しましたので、お知らせ申し上げます。下記の要領で開催予定ですので、積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。

2.1. 開催場所と開催日

- ・開催場所：文教大学越谷キャンパス（埼玉県越谷市）
- ・開催日：2019年10月5日（土）～6日（日）

2.2. 統一テーマ・趣旨

大会テーマ：戦略経営における人間的側面（仮）

大会プログラムの詳細は未定ですが、研究発表は統一テーマに関するものと自由論題による発表の2タイプから構成されます。発表内容は、戦略経営に関するものであれば、実証研究、事例研究、分析フレームワークの提案などのいずれでも可能です。

趣旨：

これまで本学会では、「IOT とインダストリー4.0 が引き起こす新たなビジネスモデル」「AI 時代の戦略経営」を続けて取り上げてきました。こういった新たな動きを支えるのは経営者や現場のビジネスパーソンによる洞察や行動です。新たな環境にチャレンジし、事業を成功に導く人材はどのようにして育ってきたのか、また、どのような行動をするのか。こうした問題を取り上げて検討するとともに、現在の「働き方改革」や「人にやさしい豊かな社会」に向けての可能性と現実的な制約条件についても議論していきます。

本大会は第 1 2 回目にあたり、干支でいえば一回りしたことになります。ひとまわりしたところで原点に戻って、企業や戦略の基本となる“ひと”についても考えていきます。

2.3. 発表形態

研究発表の形式は、口頭発表。統一テーマに関するもの、自由論題に関するもののいずれについても、英語、日本語のいずれでも可能です。

2.4. 募集要領

(1) 申込み方法：学会ホームページ 大会サイトからの申込予定

(2) 原稿の言語：英語での発表の場合は英文、日本語での発表の場合は和文

(3) 申込み期限：2019 年 6 月末を予定

(留意点)

- ① 発表申し込み時に「報告要旨」も提出して頂くこととなりますのでご注意ください。
(規定通りに作成された「報告要旨」を伴わない申し込みは受け付けられません。)
- ② 「報告要旨」のスタイルの詳細については申込期限の 2 ヶ月前頃までに公表致しますが、ほぼ昨年までの方式を踏襲し、「A4 (40 行) で 4 枚以内 (図表を含む)」となる予定です。

3. 第 11 回年次大会・研究発表大会のご報告

2018 年 9 月 8 日 (土)・9 日 (日) の 2 日間にわたり「AI 時代の戦略経営」を統一論題とし、国立大学法人電気通信大学調布キャンパスにおいて 第 11 回年次大会・研究発表大会を開催しました。

大会では、統一論題シンポジウム、統一テーマセッション、自由論題セッション、自由論題英語セッション、院生セッションを設け、25 件の研究発表が行われました。両日の参加者は、会員・非会員を含め計 84 名でした。

9月8日(土)には、東京大学大学院工学系研究科 森川博之教授による基調講演「IoT時代の戦略経営～ビジネス・プロセスのデジタル化による新価値創造」において、最前線のデジタル技術の紹介とIoTを活用した新ビジネスの可能性が提示されました。

9月9日(日)には、山本秀男氏(中央大学)の総合司会にて“Challenge Spirit in Strategic Management”というテーマにて英語シンポジウムが行われました。

木村剛氏(立教大学)によって経営環境がVUCA(Volatility, Uncertainty, Complexity, and Ambiguity)といわれる時代の戦略マネジメントサイクルの説明があった後、木野茂徳氏(国立大学法人 電気通信大学 理事(経営戦略担当))、Khan Md Mahfuzus Salam氏(株式会社 CodeNext 代表取締役)、早川正士氏(株式会社 早川地震電磁気研究所 取締役社長)から、AIやIoTを活用した新規ビジネス立上げの事例紹介があり、チャレンジ・スピリットとそれを育む経営がどうあるべきか活発な議論が行われました。

第11回年次大会・研究発表大会では、研究発表やシンポジウムを通じて有意義な議論を行うことができました。講演者、研究発表の発表者、司会者、および参加いただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。

第11回年次大会・研究発表大会委員会

4. 第1回（2019年度）学会賞のご案内

2017年8月20日に常任理事会において制定された「国際戦略経営研究学会・学会賞の規程」につきましては、その後運用方法を検討し、2018年8月31日の改定を経て、2019年度より実施いたします。

学会賞は、戦略経営に関する理論または実践について貢献するところが大きいと認められた本学会員を表彰し、本学会、及び戦略経営の理論と実践の発展をはかることを目的としたものであり、戦略経営研究を進展させ、また研究と実践の相互交流を促進することに寄与できるよう、若手研究者、実務経験を有する研究者の研究活動の奨励を重視しています（規程第1条）。

戦略経営に関する理論または実践の発展に貢献するところが顕著であると認められた論文を執筆した、本学会員に論文部門賞を授与する学会賞（論文部門）と、戦略経営に関する理論または実践の発展に貢献するところが顕著であると認められた著書を執筆した、本学会員に同賞を授与する学会賞（著書部門）があります。

学会賞（論文部門）については、2018年4月1日より2019年3月31日までに刊行された“*Journal of Strategic Management Studies*”および戦略経営ジャーナルに掲載された論文を対象とし、審査委員会により審査を行い候補を選定し、最終的に常任理事会によって決定します。授与する学会賞（著書部門）については、2018年4月1日より2019年3月31日までに刊行された本学会員による単著、共著（第一著者が本学会員であること）が対象ですが、学会員から自薦または他薦されたものを候補とします。自薦他薦方法の詳細については、改めてホームページ等を通じてお伝えします。

2019年度が第1回目となりますが、毎年度継続していきますので、会員のみなさまにはぜひ研究成果を当学会に論文投稿いただければと考えています。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

5. 編集委員会からのお知らせ

5.1. J-Stage での JSMS の発刊 (Vol. 10, No. 1)

昨年 10 月末に JSMS (Journal of Strategic Management Studies) としては初めて J-Stage に Vol.10, No.1 を掲載いたしました。以下が参照できる URL です。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iasme/list/-char/ja>

一般査読論文を含む、「IoT とダイナミック・ケイパビリティ」の特集を発刊し、早速、一部の著者に対して照会があり、J-Stage の効果が見られました。これを機に、JSMS に投稿することで IASM 会員だけではなく、様々な人に論文を読んで頂けます。今後とも、積極的な論文のご投稿をお待ちしています。

河合忠彦、中村潤 (JSMS 編集委員)

5.2. 特集号へのご投稿のお願い (再掲)

既に昨年 11 月 13 日に会員宛メールでお知らせしました通り、編集委員会では、英文ジャーナルである JSMS (Journal of Strategic Management Studies) の Vol. 11, No. 1 (Jul. 2019 発行予定) にて以下の要領で特集を組むことになりましたので、皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

(1) 特集テーマ「プラットフォーム戦略と価値創造」

(趣旨) GAFA に代表される、需要サイドの規模の経済に着目した (マルチサイド) プラットフォーム戦略を採用する企業が大きな企業価値を生み出しています。このマルチサイドプラットフォームは、金融 業者と船団、商人を結び付けた古代ギリシャや中世ヴェニス の通商システム、日本の楽市楽座、不動産 や株式市場、ショッピングモールやマスメディアなど、必ずしもオンラインビジネスに限定されない古い歴史を持つバリューシステムです。この古くて新しいプラットフォーム戦略の研究と実践は、日本企業の再生に欠かせません。論文の具体的テーマとしては、

- ・ (マルチサイド) プラットフォーム型ビジネスの立上・育成・再活性化の各段階における課題と解決策に関する研究の拡張
- ・ 日本企業が (マルチサイド) プラットフォーム戦略を採用する際の課題と解決方法の提案
- ・ 伝統的ビジネスビジネスへの (マルチサイド) プラットフォーム戦略適用条件と有効性の検討

等が考えられますが、その他、テーマに関係あれば何でも結構です。

(2) 原稿提出期限：2019年4月26日（金）

(3) 論文原稿の提出先：editor@iasm.jp

(4) 注意：通常の投稿と同じですが、特に次の点に注意してください。

投稿原稿は JSMS の執筆要領（cf 下記 URL）に準拠して作成してください。

URL：http://iasm.jp/english_activity5.html

英語はかならずネイティブチェックを受けて下さい。

投稿に関して不明点がございましたら、論文編集委員会（JSMS）委員長（中村）宛にご連絡をお願いいたします。メールアドレスは下記です。

メールアドレス：jyulis@shibaura-it.ac.jp

以上

高桑健太郎、中村潤（JSMS 編集委員）

6. 事務局からのお知らせ

(1) 会費納入のお願い

日頃より学会活動にご尽力いただきありがとうございます。学会活動は会員の皆様の会費がベースです。皆様には、本年度の学会費納入をお願いいたします。

過年度分の学会費が未納の場合には、今後発刊する学会誌が送付されません。また、会費を3年間滞納した場合には会則第8条第4号に基づいて会員資格が失われます。

以上をご留意の上、早期の会費納入につきましてご協力をお願いいたします。

年会費は正会員 8,000 円、準会員（学生）5,000 円です。指定口座は次のとおりです。

銀行名：ゆうちょ銀行 口座番号：00120-3-585264

口座名義：国際戦略経営研究学会

なお、会費納入に当たっては必ずフルネームをご記入下さい。特に校費等で振込を行う場合など、大学から学会宛に直接振り込みが行われる際にはご注意下さい。

(2) 住所等変更の際のご連絡のお願い

所属・ご住所・メールアドレス等を変更された方は、速やかに学会事務局までご連絡ください。準会員で入会された方も、学生の身分を離れた場合には正会員になりますので、学会事務局までお申し出下さい。

(3) 活気溢れる学会運営のため、お知り合いの方には是非当学会への入会をお勧め下さい。ご不明の点がありましたら、下記学会事務局までお問い合わせください。

#####

国際戦略経営研究学会 (IASM)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

電話 03-6824-9369・FAX 03-5227-8631

平日 9:00～12:00 13:00～17:00(土日・祝日を除く)

iasm-post(at)bunken.co.jp (at)の場所に@をお入れください)

#####

写真：神奈川の景勝 50 選 盗人狩